

## 令和2年度 学力スタンダード指導計画・報告書

教科：(地理歴史)科目：(日本史B) 対象：(第3学年 1組～6組)

教科・科目の 指導目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の歴史をふまえ、古代から現代までを事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化を理解する。</li> <li>・歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。</li> <li>・日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。</li> </ul>
----------------	---

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<p>1.地理・歴史分野について中学校までに身につけるべき基礎的・基本的内容の習得が不十分な生徒が多い。</p> <p>2.前年度の世界史Aにおいて学習した近現代の世界史の基礎的・基本的内容については習得できている生徒も多いが、現代との関連を考える歴史的思考力については十分とはいえない。</p> <p>※本校では学力検査による入試を実施していないため、1学年の地理A、現代社会、2学年の世界史Aの授業の結果をふまえ、判断した。</p>	<p>1.中学校までに学習する日本史についての基本的事項について、授業時に確認する機会を積極的に設ける。</p> <p>2.授業で扱う事象は必要最小限の分量にとどめ、基礎的知識や技能の確実な定着を図る。</p> <p>3.現代との関連性を授業に織り込み、歴史的思考力を育成する。</p>	<p>1.内容を精選し、社会において必要とされる基礎的基本的内容の習得を図る。</p> <p>2.視聴覚教材などの活用により、視覚的にわかりやすい授業を展開することで生徒に興味関心を持たせる。</p> <p>3.授業で学んだ基礎的基本的内容について反復練習を行い、定着を図る。</p>

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			